



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 極洋

上場取引所 東

コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	126,884	6.4	735	31.5	1,128	15.3	710	13.8
2019年3月期第2四半期	119,202	1.0	1,072	52.3	1,332	44.4	824	49.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 528百万円 (62.6%) 2019年3月期第2四半期 1,412百万円 (26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	65.66	
2019年3月期第2四半期	76.33	72.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	119,707	31,762	26.5
2019年3月期	114,673	31,996	27.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 31,696百万円 2019年3月期 31,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				70.00	70.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	9.3	4,000	4.4	4,500	1.5	3,000	3.0	277.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) KYOKUYO GLOBAL
SEAFOODS Co.,Ltd.、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	10,928,283 株	2019年3月期	10,928,283 株
期末自己株式数	109,203 株	2019年3月期	109,112 株
期中平均株式数(四半期累計)	10,819,101 株	2019年3月期2Q	10,801,591 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は2019年11月11日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復が続いております。

水産・食品業界におきましては、人手不足による労働コスト・物流コストの上昇に加え、世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇など、厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』（2018年度～2020年度）の2年目として、『魚を中心とした総合食品会社として、高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と時間価値の提供により企業価値の向上を目指す』という基本方針のもと、『ESG重視の事業活動』を通じて『拡大』『強化』『均衡』の各戦略を進め、高収益構造へ大きく転換していくことを目指し、目標達成に向け取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,268億84百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は7億35百万円（前年同期比31.5%減）、経常利益は11億28百万円（前年同期比15.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億10百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりです。

①水産商事セグメント

国内では、鮭鱒・エビ・北洋魚などの取扱いが伸長し、また海外でも日本産サバ・イワシ・ホタテなどの輸出や、米国子会社による北米販売が堅調に推移しました。一方、利益面では紅鮭・チリ銀鮭の市況下落により、鮭鱒で損失計上を余儀なくされました。この結果、売上は前年同期を上回りましたが、利益は前年同期を下回りました。

水産商事セグメントの売上高は621億1百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は2億69百万円（前年同期比71.9%減）となりました。

②冷凍食品セグメント

水産冷凍食品事業では寿司種を中心とした生食用商品や、切身・煮魚・焼魚などの加熱用商品の拡販に努めました。調理冷凍食品事業ではカニ風味かまぼこやエビフライなどの水産フライが伸長し、家庭用冷凍食品事業ではお弁当商品に加え、米飯類や煮魚などアイテムの多様化に努めました。この結果、売上・利益とも前期を上回りました。

冷凍食品セグメントの売上高は406億16百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は3億51百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

③常温食品セグメント

缶詰は、イワシ缶・カツオ缶・サンマ缶の販売が伸長し、また珍味製品も堅調に推移しました。また、利益面では原料価格高騰が続くなか、缶詰・珍味製品とも価格改定や規格変更などにより利益率の改善を進めました。この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

常温食品セグメントの売上高は95億23百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は3億25百万円（前年同期比82.5%増）となりました。

④物流サービスセグメント

前期10月に行った連結子会社における会社分割及び株式譲渡により、売上は前年同期を下回りましたが、在庫貨物の確保を図り、配送事業強化に努めた結果、利益は前年同期を上回りました。

物流サービスセグメントの売上高は4億49百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益は1億50百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

⑤鰹・鮪セグメント

加工及び販売事業では、カツオタタキ・マグロタタキなど加工品の販売が伸長しました。海外まき網事業では、水揚数量、魚価が前年同期を下回ったため減収となりましたが、経費削減に努め、前年同期並みの利益を確保しました。また養殖事業は当期大きな風水害の影響がなく、生育に応じた出荷を進めたことで、収支が改善しました。この結果、売上は前年同期を下回りましたが、利益は前年同期を上回りました。

鰹・鮪セグメントの売上高は139億94百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は1億72百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億33百万円増加し、1,197億7百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ41億38百万円増加し、935億63百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億94百万円増加し、261億43百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金や借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ52億67百万円増加し、879億44百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億33百万円減少し、317億62百万円となりました。

この結果、自己資本比率は26.5%(前連結会計年度末比1.2ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における直近の業績の進捗を踏まえ、業績予想の見直しを行った結果、2019年5月13日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2019年5月13日に発表しました2020年3月期の通期連結業績予想との差異は、以下の通りです。

なお、配当につきましては、従来予想（1株当たり70円）に変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	286,000	5,500	5,400	3,800	351.23
今回修正予想(B)	280,000	4,000	4,500	3,000	277.29
増減額(B-A)	△6,000	△1,500	△900	△800	
増減率(%)	△2.1	△27.3	△16.7	△21.1	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	256,151	3,831	4,434	2,914	269.63

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,818	4,397
受取手形及び売掛金	35,540	37,396
たな卸資産	44,947	49,907
その他	4,126	1,869
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	89,425	93,563
固定資産		
有形固定資産	14,981	15,653
無形固定資産		
その他	549	543
無形固定資産合計	549	543
投資その他の資産		
投資有価証券	6,248	6,308
その他	5,262	5,431
貸倒引当金	△1,793	△1,793
投資その他の資産合計	9,717	9,946
固定資産合計	25,248	26,143
資産合計	114,673	119,707

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,208	9,673
短期借入金	24,469	32,886
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	472	702
引当金	941	930
その他	9,637	7,705
流動負債合計	54,730	61,897
固定負債		
長期借入金	23,193	21,338
引当金	111	151
退職給付に係る負債	4,369	4,276
資産除去債務	51	51
その他	221	228
固定負債合計	27,946	26,047
負債合計	82,677	87,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,308	1,308
利益剰余金	24,618	24,568
自己株式	△244	△244
株主資本合計	31,346	31,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183	1,046
繰延ヘッジ損益	23	34
為替換算調整勘定	172	160
退職給付に係る調整累計額	△903	△841
その他の包括利益累計額合計	475	400
非支配株主持分	174	65
純資産合計	31,996	31,762
負債純資産合計	114,673	119,707

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	119,202	126,884
売上原価	108,196	115,283
売上総利益	11,006	11,600
販売費及び一般管理費	9,933	10,865
営業利益	1,072	735
営業外収益		
受取利息	14	4
受取配当金	52	64
持分法による投資利益	122	88
補助金収入	123	229
為替差益	51	164
その他	134	110
営業外収益合計	499	661
営業外費用		
支払利息	209	225
貸倒引当金繰入額	△0	0
その他	31	42
営業外費用合計	240	268
経常利益	1,332	1,128
特別利益		
固定資産処分益	2	0
国庫補助金等収入	—	0
投資有価証券売却益	0	—
その他	1	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産処分損	3	2
減損損失	—	11
災害による損失	52	—
投資有価証券評価損	—	23
固定資産圧縮損	—	0
和解金	152	—
特別損失合計	208	38
税金等調整前四半期純利益	1,127	1,091
法人税、住民税及び事業税	371	644
法人税等調整額	△17	△148
法人税等合計	354	495
四半期純利益	773	595
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	824	710
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△51	△114

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	351	△136
繰延ヘッジ損益	266	11
為替換算調整勘定	△54	△4
退職給付に係る調整額	74	61
その他の包括利益合計	639	△67
四半期包括利益	1,412	528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,476	635
非支配株主に係る四半期包括利益	△63	△107

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,127	1,091
減価償却費	909	933
減損損失	—	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△36	△7
その他の引当金の増減額(△は減少)	△7	28
受取利息及び受取配当金	△66	△68
支払利息	209	225
売上債権の増減額(△は増加)	△5,283	△1,908
その他債権の増減額(△は増加)	182	2,291
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,448	△4,909
仕入債務の増減額(△は減少)	1,207	427
その他債務の増減額(△は減少)	506	△1,807
その他	△112	△67
小計	△10,819	△3,760
利息及び配当金の受取額	65	91
利息の支払額	△215	△233
国庫補助金等の受取額	1,489	0
法人税等の支払額	△682	△422
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,161	△4,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	1	△3
固定資産の取得による支出	△964	△1,621
固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△259	△214
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△9	△8
貸付金の回収による収入	28	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,200	△1,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,126	4,498
長期借入れによる収入	2,000	2,700
長期借入金の返済による支出	△450	△616
配当金の支払額	△649	△760
その他	△91	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,935	5,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,553	△423
現金及び現金同等物の期首残高	4,977	4,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,530	4,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	56,221	38,772	9,369	515	14,127	195	119,202	—	119,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,713	2,562	111	860	1,606	617	21,473	△21,473	—
計	71,935	41,334	9,481	1,376	15,733	813	140,675	△21,473	119,202
セグメント利益又は損失(△)	957	291	178	136	150	△71	1,642	△569	1,072

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額569百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用632百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	62,101	40,616	9,523	449	13,994	198	126,884	—	126,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,170	2,546	153	884	2,143	638	22,537	△22,537	—
計	78,272	43,163	9,676	1,334	16,138	837	149,422	△22,537	126,884
セグメント利益又は損失(△)	269	351	325	150	172	△14	1,255	△519	735

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額519百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用629百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。